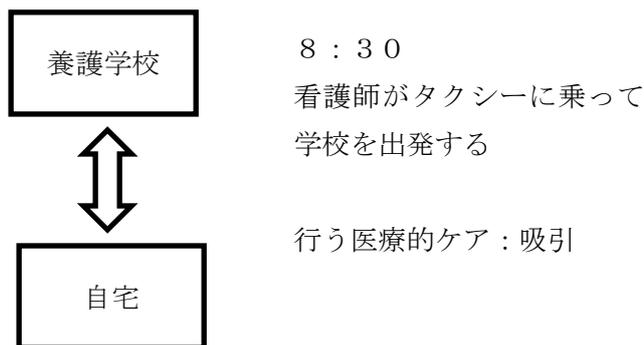


川西市立 川西養護学校より聞き取り

- ・以前はスクールバス、タクシーの運転手を市の職員が行っていた。現在は市が業務を委託にだし、委託先の団体が行っている。市がスクールバス・タクシーの運行費に関しての予算を組んでいる。
- ・利用人数…回答なし。
- ・入学時の話し合いの中で、医療的ケアの必要性を把握して、送迎についてのスケジュールを組んでいる。学校勤務の看護師が同乗。ピストンで複数名対応することもある。
- ・看護師4名勤務（常勤2名、臨時2名）
- ・体調が不安定である方に関しては、保護者対応を行っているケースもある。
- ・実際利用されている保護者からは、好評である。
- ・8時半に学校を出発しているため、クラスの朝礼に個別対応の方が参加できないことがある。



・緊急時の対応について

看護師が携帯電話を所持して同乗。緊急時には保護者や学校を通して、かかりつけ医に連絡を取り、対応を仰ぐ。急変時には、119番通報を行うこととしている。しかし、現在までに緊急的な対応を行った事例はない。利用に際して、緊急時の対応についても保護者と十分に話合っている。

・今後の課題

現状では現在の看護師配置で送迎の対応が行えているが、今後、医療的ケアが必要な方の利用数が増加してきた場合、適正な看護師配置や現状と同じ方法を継続できるかどうか。

医療的ケアの必要な方の生活の状況

相談支援専門員より情報提供

ケース①

○10代

○本人の状態：胃ろう・気管切開

○状況

本人は友達と一緒に過ごすことも学校も大好きで行きたがっているが、片道1時間かけて母の送迎で通学しているため母の負担感が大きい。結局母親の用事や疲れ具合で学校を休んでいる。実際今年1月には母親が病院で手術を受けることになったため約1カ月半学校を休み、兵庫県南部の医療型施設のショートステイを利用した。退院後ショートステイが終わった後も通学できずに週に1度、学校からの訪問指導を受けている。

9:00	自宅出発
10:00	学校到着
11:00	母自宅
13:30	母自宅出発
14:30	母学校到着
15:30	母

(母の一日のスケジュール)

ケース②

○20代

○本人の状態：胃ろう・気管切開

○状況

本人は常日頃より家族から離れてプライベートの時間がほしいと思っている。映画鑑賞や外出も楽しみたいと思っているが、人工呼吸器をつけ吸引が必要なため、常時母親の付き添いが必要。移動支援ヘルパーでは医療的ケア処置ができないため、看護師の付き添いを求めているが、外出支援ヘルパーは、看護師に見合った人件費でないうえ、土日の長時間勤務となるため、担い手が見つからない。